

## 平成29年度 国民医療費の概況訂正について

標記について概況の一部に誤りがあったため、下記の通り訂正しました。

### 記

#### 概況6頁

##### 5 年齢階級別国民医療費

(誤)

年齢階級別にみると、0～14歳は2兆5,392億円（構成割合5.9%）、15～44歳は5兆2,690億円（同12.2%）、45～64歳は9兆3,112億円（同21.6%）、65歳以上は25兆9,515億円（同60.3%）となっている。



(正)

年齢階級別にみると、0～14歳は2兆5,395億円（構成割合5.9%）、15～44歳は5兆2,690億円（同12.2%）、45～64歳は9兆3,088億円（同21.6%）、65歳以上は25兆9,537億円（同60.3%）となっている。

#### 概況7頁

(誤)

また、年齢階級別国民医療費を性別にみると、0～14歳の男は1兆3,989億円（構成割合6.7%）、女は1兆1,403億円（同5.1%）、15～44歳の男は2兆3,798億円（同11.4%）、女は2兆8,892億円（同13.0%）、45～64歳の男は4兆9,698億円（同23.8%）、女は4兆3,415億円（同19.6%）、65歳以上の男は12兆1,286億円（同58.1%）、女は13兆8,229億円（同62.3%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満の男は18万8,600円、女は18万5,400円、65歳以上の男は79万4,700円、女は69万4,900円となっている。（表6、統計表第5表）



(正)

また、年齢階級別国民医療費を性別にみると、0～14歳の男は1兆3,991億円（構成割合6.7%）、女は1兆1,404億円（同5.1%）、15～44歳の男は2兆3,798億円（同11.4%）、女は2兆8,892億円（同13.0%）、45～64歳の男は4兆9,677億円（同23.8%）、女は4兆3,411億円（同19.6%）、65歳以上の男は12兆1,267億円（同58.1%）、女は13兆8,270億円（同62.3%）となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、65歳未満の男は18万8,500円、女は18万5,400円、65歳以上の男は79万4,600円、女は69万5,100円となっている。（表6、統計表第5表）

#### 概況8頁

##### 6 傷病分類別医科診療医療費

(誤)

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」6兆782億円（構成割合19.7%）が最も多く、次いで「新生物＜腫瘍＞」4兆3,766億円（同14.2%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」2兆4,456億円（同7.9%）、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」2兆3,884億円（同7.7%）、「呼吸器系の疾患」2兆2,895億円（同7.4%）となっている。

年齢階級別にみると、65歳未満では「新生物＜腫瘍＞」1兆5,401億円（同13.3%）が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」4兆8,100億円（同25.0%）が最も多くなっている。



(正)

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、「循環器系の疾患」6兆771億円（構成割合19.7%）が最も多く、次いで「新生物＜腫瘍＞」4兆3,761億円（同14.2%）、「筋骨格系及び結合組織の疾患」2兆4,452億円（同7.9%）、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」2兆3,814億円（同7.7%）、「呼吸器系の疾患」2兆2,892億円（同7.4%）となっている。

年齢階級別にみると、65歳未満では「新生物＜腫瘍＞」1兆5,400億円（同13.3%）が最も多く、65歳以上では「循環器系の疾患」4兆8,092億円（同25.0%）が最も多くなっている。